



2月の園だより

令和7年2月 富田林市立錦郡幼稚園



如月、寒さもまた楽し

～ すべてのことが学びの種に ～

『おには～そと！ ふくは～うち！』

2月といえば節分、今年は2月2日。恥ずかしながらこの年になるまで、節分といえば必ず2月3日だと信じて疑わず、また節分がもともと年に4回(立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれ前日)あり、季節(四季)を分けるから節分ということもつい最近知りました。こどもの頃、「自分の歳(とし)に1個足して食べるんやで」と親に教えられ、すごく得した気分になったものですが、今では「そんないっぱい食べられへんわ!」と嘆いている自分がいます。一方、恵方巻は丸かじりできなかった遠い昔から、余裕で食べることができた頃を経て、今またできなくなっていることに、少し寂しい思いも持っております。皆さんは如何でしょうか？ 鬼は、何処かで笑っているのでしょうか？

『1年で一番寒い時でも』

1月20日が大寒、ここから節分まで(立春の前日まで)の期間を大寒日といい、この間が1年で一番寒い時期だと言われています。まさに今ですね。こんな中でも、こどもたちが園庭に植えたチューリップが芽を出してきました。外遊びも可能な限り行い、体を動かす遊びを意識的に多くしています。『げんきこタイム』では、どんぐり体操やマラソンを楽しみながらやっていますが、マラソンでは体幹や腕の振りを意識することで、まっすぐリズムカルに走れるようになってきました。こどもたちを個別に観ていても、体力がついてきたことが手に取るようにわかります。人間も含めた自然は、寒さも力に変えています。

『遊びは学びのワンダーランド』

昔遊びでもあるカルタには、学びの要素がいっぱい詰まっています。読み手の声をよく聞き、取り札の文字や絵をよく見て正解を判断し、手を伸ばして、一番に取ったら自分のものになること。同時に取った時は誰のものにするか、最終的に勝者はどんな理由で決定されるのか。こどもたちは心も体も、そして頭もフル回転、脳の発達にも大いに役立っているのは言うまでもありません。

2月には、1年間の遊びの総決算ともいえる生活発表会(22日(土)・劇ごっこ)を開催します。今は日々練習を積み重ねています。どうしたら一人一人が楽しく演じられるか、セリフや踊り、歌、背景などをどう作るか、うまくいかない時にはどうするかなど、やはりこどもたちは、遊びながら学んでいっています。みんなで「やったあ!」と叫ぶ瞬間を思い浮かべながら・・・。

園長 塩野 義和